

抑制廃止とケアの質を高める会へ参加の皆さまへ

定例会について

「抑制廃止とケアの質を高める会」とは、福岡県慢性期ケア協会加入病院の中で、自分達のケアを見直し良いケアを提供しようと努力している集団です。

「抑制廃止とケアの質を高める会」の勉強会ですが、初めての方も多と思います。この定例会は、教育グループ、認知症グループに分かれ、抑制廃止に関する問題や認知症の方への対応に関する問題等を年間を通して話し合う場としています。(年間6回のグループワーク)

また、同時に個人のスキルアップのために、会議の進め方や発言の仕方等を「森 由紀」先生の講義を受け、それを実践する形をとります。今年度はグループワークの進め方+プレゼンの仕方等を予定しています。

グループ分け

どのグループに参加されても構いませんが、おおまか管理、教育担当の方は教育グループ。現場での悩みや実践の方法論等は認知症グループが良いと思います。1Gメンバーは9人程度です、同じ病院同士は重ならないように願います。また、年間を通じての参加をお願いします、どうしても別の方と交代する場合はグループ名や内容(テーマ、司会、書記)の引き継ぎを充分にして下さい。

*書記=議事録は10日以内に事務局へお送り下さい。

議事録書式は「抑制廃止とケアの質を高める会」HPよりダウンロードしてお使い下さい。

事務局(担当 後藤) E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886 FAX092-691-3961

年間予定

定例会は偶数月の第2土曜日 14:00~16:00 場所は博多駅周辺と天神周辺を交互に利用

4月	第2(土)	センターザ博多	
6月	第2(土)	福岡ビル	*6月第1(土)ケアスタッフ研修会 明治安田生命ビル
8月	第2(土)	センターザ博多	
10月	第2(土)	福岡ビル	
12月	第2(土)	センターザ博多	
2月	第2(土)	福岡ビル	

介護職、看護職、色々な立場の方に参加頂いています。一年間皆さんで患者さんの安全、安楽を考えて行きましょう。よろしく願いいたします。

抑制廃止とケアの質を高める会へ参加の皆さまへ

抑制廃止福岡宣言

老人に、自由と誇りと安らぎを

- ①縛る、抑制をやめることを決意し、実行する
- ②抑制とは何かを考える
- ③継続するために、院内を公開する
- ④抑制を限りなくゼロに近づける
- ⑤抑制廃止運動を、全国的に広げていく

1998. 10. 30

抑制廃止とケアの質を高める会について

16年前、抑制は当たり前の行為で看護者は多少の罪悪感を持ちながらも、抑制に代わるケアを考えるわけでもなく漫然と抑制行為を行っていました。そんな時、上川病院(八王子)が抑制を廃止した看護をしてありました。当時の先輩方は「抑制の廃止などできるのだろうか」と思っていました。抑制なしでケアしている現場を見て「目からウロコ」といった衝撃を受けられたそうです。その後、抑制廃止の活動を始められ、1998年(H10)福岡県療養病床協会(現福岡県慢性期ケア協会)の中で10病院の看護の代表の方が集まり、上記の抑制廃止宣言をされました。

これは福岡宣言と呼ばれ、その後の平成12年に始まった介護保険制度の中で身体拘束が禁止となった基になる活動となりました。その後も熱心に勉強会を続けられ「患者さんの日常生活が安全、安楽であれば抑制を必要とする場面は軽減する、そのためには現場の介護や看護の質を上げる事が重要である」という考えのもとに会の名前を「抑制廃止とケアの質を高める会」にし、勉強会(定例会)と介護職の研究発表会である「ケアスタッフ研修会」を行ってこられ、内容など少しずつ変化しながら現在に至っている会です。今年のケアスタッフ研修会は15回目となっております。

先輩方の思いを今後も引き継いでいかなければと思います、皆で取り組んでまいりましょう。

平成27年度 抑制廃止とケアの質を高める会

16 年前の当時の先輩方は、宣言文にどんな思いを込められていたのか

老人に、自由と誇りと安らぎを

20 年前「老人」のイメージは今とは全く違い、日が当たらない部分が多かった。抑制という行為が看護行為としてまかり通っていた事自体がそれらを表している。

抑制をしないというケアを覚悟した時、今までのケアを振り返り、申し訳ない気持ちでいっぱいになった。「自由、誇り、安らぎ」という言葉は、当時の老人に不足していたもので、宣言をする時に、心から患者さんの幸せを願い、苦痛からの解放を目指し、宣言の理念にした。

①縛る、抑制をやめることを決意し、実行する

「縛る」という言葉に多少違和感もあるが、人が人の自由な行動を奪う「縛る」という行為から目を逸らさない意味で、あえて表現することで看護、介護する私達の行為の戒めとする事にした。

「決意し、実行する」これは私達の決意表明である。宣言とは周囲に知らしめると同時に、自分達にそれを課す事になる。実行する決意を持って一番に表現した。

②抑制とは何かを考える

「抑制」は医療者側の視点に立った言葉で都合のよい表現ではないかと感じた。「抑制」と言う一言で済ましてはいけない様々な事象や、事例を考えていく事にした。

③継続するために、院内を公開する

宣言当時、病院は家族の面会以外は部外者の立ち入りを許さない印象があった。しかし、抑制廃止を宣言し、その活動を他者に見てもらうために院内を公開する事とした。第三者の客観的な評価に晒されることで意識も変わり、技術も向上すると信じた。

④抑制を限りなくゼロに近づける

「抑制をゼロ」にするのが目標では無い。色々な場面で抑制が必要な時もある。大切なのは「抑制をしない」というのが前提であり、抑制をするなら抑制までのプロセスを、抑制を施行したら外すプロセスを、と常に「しないために」「はずすために」と考えていくための目標である。

⑤抑制廃止運動を、全国的に広げていく

一人でも多くの患者さんに安らぎと、現場職員の認識が変化するようにとの願いをこめて最後をしめることにした。

平成 27 年度 第一回抑制廃止とケアの質を高める会(4月定例会)

日 時：平成 27 年 4 月 11 日(土) 14:00～16:00

進 行：原土井病院

場 所：セントラーザ博多

書 記：原土井病院

出席者： 23 病院 51 名

事務局(担当 後藤) E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886

FAX092-691-3961

会よりオリエンテーション(別紙参照)

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・認知グループ、教育グループへのグループ分け | 参加者名簿 |
| ・「抑制廃止とケアの質を高める会」について | 定例会の進め方 資料① |
| ・「抑制廃止福岡宣言」について | 宣言文の内容について 資料② |

議題 1. グループワーク

講師 「森 由紀」 先生

グループを認知症 1, 2, 3, 教育 1, 2, 看護部長 1, のグループに編成。

今回は、初めてのメンバーでのグループワークの進め方、年間計画の立て方、司会、メンバーの役割等を学ぶ。

○自己紹介(1分間で)

○年間計画＝途中変更になっても良いので計画を立てる。

- ・会議で大切な事は今日何をするか知っている事。「目的があり、その成果物がある」事が大事
- ・計画が無いと変更も出来ない

○議事録＝メンバー共通のツールにならないといけない

- ・年間 5 回分が表になっているとよい

○司会＝リーダーシップではなく、皆の意見をまんべんなく出せること(時間配分が大事)

○書記＝まとめる

*各グループの内容はグループの議事録を参照下さい

議題 2. 「身体拘束ゼロへの手引き」の読み合わせ

今回は時間がとれず、次回から開始とする

議題 3. 第 15 回ケアスタッフ研修会(案)について *詳細が決まり次第各施設に案内状送付します。

日 時 平成 27 年 6 月 6 日(土) 13:30～16:00 (日時、場所は決定)

場 所 明治安田生命ホール

12:30～13:00 受付

13:00～ 開会挨拶

13:05～14:05 講師紹介 講演(60分) *内容＝調整中

14:05～14:20 休憩

14:20～15:10 研究発表 5 病院発表 (1 施設 7 分、質疑 3 分)

15:15 閉会

ケアスタッフ研修会、発表施設(者)募集中

*年一回の発表会です是非どうぞ!

○応募締め切り 4 月 20 日(月)まで。

○抄録提出は 5 月 9 日(土)まで。

その他.

次回 ・第 15 回ケアスタッフ研修会 平成 27 年 6 月 6 日(土)13:30～

・8 月定例会 平成 27 年 6 月 13 日(土)14:00～ 天神 福ビル

第 15 回ケアスタッフ研修会について

日 時 平成 27 年 6 月 6 日(土) 13 : 30 ~ 16 : 00

場 所 明治安田生命ホール

13 : 00 ~ 13 : 30 受付

13 : 30 ~ 開会挨拶

13 : 35 ~ 14 : 35 講師紹介 講演(60 分)

14 : 35 ~ 14 : 50 休憩

14 : 50 ~ 15 : 40 研究発表 5 病院発表 (1 施設 7 分、質疑 3 分)

15 : 45 閉会

発表施設(順)

1、北九州小倉病院

2、赤間病院

3、西福岡病院

4、北九州八幡東病院

5、原土井病院

発表病院の皆様へお願い

今回は演題の申込有難うございました。

お願い事で申し訳ありませんが、基本的に会の運営等自分達で行っております。ご理解の上、各病院から 1名お手伝い(ボランティア)をお願いいたします。役割等は以下の通りです。また、お食事もご自分達でお願いいたします。

お手伝いの方は当日 12:20 に集合し 13:00 よりの開始準備をします。

発表者の方は 当日 11:30 からステージで練習可能です。(事務局がいます)

各係について

*こちらで振り分けをいたしましたご了解願います。

- 総合司会 (早川さん)
- 講師紹介 (テルモさん)
- 座長 (安藤さん、寺島さん)
- 受付 (北九州小倉病院) (赤間病院)
 - ・受付机上に・抄録・アンケート用紙を設置。参加者個人で取ってもらう。
 - ・会終了後アンケートを出口で回収→回収後事務局へ渡す。
- 会場誘導 (西福岡病院)
 - ・会場前部が極端に空かないよう誘導
- ハンドマイク係 (北九州八幡東病院) (原土井病院)
 - ・質問者用(講演のときから両端に1人ずつ待機)
- 事務局 : 発表病院名用紙、座長用紙(氏名不要)、名札(スタッフ)
セロテープ、講師用ペットボトル、コップ、パソコン、デジカメ
講演会謝金、看板

発表について

- 発表者 当日 11:30 からステージで練習可能です。
 - ・抄録、原稿共に事務局提出分は返却出来ません。
 - ・発表原稿(USB)、資料等は当日各自で持参して下さい。
 - ・発表時のパソコン操作は事務局では致しません。
 - ・会場内に発表者の席はあります。

平成 27 年度 第 2 回抑制廃止とケアの質を高める会(6 月定例会)

日 時：平成 27 年 6 月 13 日(土) 14：00～16：00

進 行：原土井病院

場 所：福ビル

書 記：原土井病院

出席者： 27 病院 55 名

事務局(担当 後藤) E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886 FAX092-691-3961

報告. 6 月 6 日(土) 第 15 回ケアスタッフ研修会終了しました。 約 250 名参加

発表病院 1,北九州小倉病院 2,赤間病院 3,西福岡病院 4,北九州八幡東病院
5,原土井病院

*「抑制廃止とケアの質を高める会」もしくは「ケアスタッフ研修会」で検索して下さい。動画で発表の様子が見れますので、勉強会等に使用下さい。今月中に掲載します。また、定例会の議事録等も見れるようになっています。

*抄録希望の方は配布します。

議題 1. グループワーク

講師 「森 由紀」 先生

グループを認知症 1, 2, 3, 教育 1, 2, 看護部長 1, のグループに編成。

各議事録を参照してください。

議題 2. 「身体拘束ゼロへの手引き」の読み合わせ

P1 はじめに

身体拘束は「やむを得ない」のだろうか

その他.

次回 ・ 8 月定例会 平成 27 年 8 月 8 日(土)14：00～ 博多センターザ

平成 27 年度 第 3 回抑制廃止とケアの質を高める会(8 月定例会)

日 時：平成 27 年 8 月 8 日(土) 14:00~16:00

進 行：原土井病院

場 所：博多セントラーザ

書 記：原土井病院

出席者： 31 病院 66 名

事務局(担当 後藤) E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886 FAX092-691-3961

報告.

現在、会からのお知らせ等はネットのみで行っています。「抑制廃止とケアの質を高める会」で検索、「着信情報・お知らせ」に・会議録書式=入力後メール、またはダウンロード後 FAX。
・各グループの会議録・定例会のご案内等です。ご活用下さい。

議題 1. グループワーク 認知症 1~4 G と教育 1~4 G 講師 「森 由紀」先生

リーダーの役割=その場を回す=時間の中で、全員の意見が出るように。
会の目標を明確にする(ただ行けばいいではいけない)

リーダーシップを勉強する時に出てくる言葉『暗黙知』

「暗黙知」= 経験上知っている事=理論的には説明できない。

↓ 暗黙のルール 何となくあいまい=仕事上、上手くいかない

明文化する =具体的な表現する・ルール作り=何が出来ないか etc
(部下を指導する時、明文化したのものがあるか)

発表者=発表はリーダーがまとめるものでもない。皆でまとめをしているので、誰でも発表出来るはず。

*上記の講義を受けながら各 G テーマにそって話し合う。詳細は議事録参照。

議題 2. 「身体拘束ゼロへの手引き」の読み合わせ

P2 身体拘束はなぜ問題なのか

身体拘束がもたらす多くの弊害

拘束が拘束を生む悪循環

その他.

次回 ・10 月定例会 平成 27 年 10 月 10 日(土)14:00~ 福ビル

*書記の方は会議録を早め(一週間位)にお願いします。(月内に議事録が配布できるように)

*議事録書式は「抑制廃止とケアの質を高める会」の新着情報・お知らせからダウンロード出来ます。また、「ケアスタッフ研修会」では第 15 回の発表を動画公開しています。ご覧ください。

平成 27 年度 第 4 回抑制廃止とケアの質を高める会(10 月定例会)

日 時：平成 27 年 10 月 10 日(土) 14：00～16：00

進 行：原土井病院

場 所：福ビル

書 記：原土井病院

出席者：30 病院 68 名

事務局(担当 後藤)

E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886

FAX092-691-3961

報告.

議題 1. グループワーク

認知症 1～4 G と教育 1～4 G

講師 「森 由紀」先生

会議前の共通認識を持つためにブレインストーミング

問題に対し「大変」だけで終わってはいけない＝前向きな提案を

(内容は各 G の議事録を参照)

議題 2. 「身体拘束ゼロへの手引き」の読み合わせ

*読み合わせ＝目で読むのと声を出して読むのとでは違う。

人が読んでいるのを聞くのも大切

P4 身体拘束は本当になくせないのか

身体拘束廃止のためにまずなすべきこと－5つの方針

その他.

2 月 13 日(土)年度最後は、G 毎に皆の前で発表の会

次回 12 月は発表準備

次回 ・12 月定例会 平成 27 年 12 月 12 日(土)14：00～
福ビル

*書記の方は議事録を早め(一週間位)にお願いします。(月内に議事録が公開できるように)

*議事録書式は「抑制廃止とケアの質を高める会」の新着情報・お知らせからダウンロード出来ます。

*議事録は郵送しません、各自印刷して下さい。

平成 27 年度 第 5 回抑制廃止とケアの質を高める会(12 月定例会)

日 時：平成 27 年 12 月 12 日(土) 14:00~16:00

進 行：原土井病院

場 所：福ビル

書 記：原土井病院

出席者： 31 病院 69 名

事務局(担当 後藤) E-mail info@fukuokakenryo.jp

☎092-691-3886

FAX092-691-3961

報告.

議題 1. グループワーク 認知症 1~4 G と教育 1~4 G 講師 「森 由紀」先生

* 次回 2 月 G 発表に向けてのまとめ、発表の準備

* リーダーは背負わなくて良い。皆に役割(仕事)を振り分けるとよい。

議題 2. 「身体拘束ゼロへの手引き」の読み合わせ

* 読み合わせ=目で読むのと声を出して読むのとでは違う。

人が読んでいるのを聞くのも大切

前回 P6 身体拘束をせずにケアを行うために—3つの原則

その他.

2 月 13 日(土)年度最後は、G 毎に皆の前で発表の会

* 抑制廃止に関するテーマは結果が出せるようなものでもない。

結果でなく話し合った経過でも良い。

話し合っただけの事。良かった事。等を発表でも良い。

次回 最終定例会 平成 28 年 2 月 13 日(土)14:00~

発表会 場所は後日

* 書記の方は議事録を早め(一週間位)にお願いします。(月内に議事録が公開できるように)

* 議事録書式は「抑制廃止とケアの質を高める会」の新着情報・お知らせからダウンロード出来ます。

* 議事録は郵送しません、各自印刷して下さい。